

原付ヒノキ希少個体群保護林

希少-34

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 日光森林管理署
所在地	栃木県 日光市
面積	9.01ha
設定年	1955(S30)年
保護林の概要 (設定目的)	天然分布の北限にあたるヒノキが生育する原生林に準ずる森林で、学術上及び森林施業上の考証として貴重である。このため、天然分布の北限にあたるヒノキの生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2017年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ヒノキが優占して生育する林分において計2か所の調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。(旧原付天然ヒノキ植物群落保護林)
結果概要	前回調査と比較して大きな変化は確認されていない。下層にはヒノキの稚樹や幼木が確認されており、本保護林は良好な状態で維持されていると評価される。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。